

いふ忠も死んばあうい夏

外があつにせいお

この忠 終家 入てくる

床に目をやるとニうま 時 け するいてい

流れ、ううに 宗いてい

そばに乘ると 思ふ事 宗行秘の先を

あつ物、すると 工はく ところが、

又 宗きけいなる

宗行秘を近かつても せうともし 宗の

いとこの宗向へ 行くのでなく

とにわく宗いてい

少しも とするると なく するまつた

い、 つかれるお宗 と思ふせい

そのいふ忠、 この宗子かや宗り

宗の宗も 宗うりかると思つてい

片つたううと

水のけい、てい 山相

おもしろい箱おやつと せしうごかし

おどろい、い 牛急の死んが

ころく、い

毛の刀をもちて来て

玉をかきりと

とれぐらしかかきとるはたけ

しゆきかかきとるはたけ

あつらて飛んたのた

今の中箱かきとるはたけ

自然寄はす玉かきとるはたけ

玄因をアアのと

しよ石にずりいんたけ 17ヶ出見かた

今くあつていよ

ひといあうまに

出古に五らわあかたけ

2025
7/30